

## 資 料

# 演習林の異翅亜目<sup>キ</sup>

(愛媛大学米野々演習林の昆虫相に関する資料, その3)

石原 保\*・宮武睦夫\*\*・友国雅章\*\*\*・時広五朗\*\*\*\*

今回明らかにした異翅亜目は, 次の18科102種であるが, このほかに10数種の未同定種がある。

1. Plataspidae	マルカメムシ科	1種	10. Tingidae	グンバイムシ科	6種
2. Cydnidae	ツチカメムシ科	3種	11. Enicocephalidae	クビナガカメムシ科	1種
3. Pentatomidae	カメムシ科	15種	12. Reduviidae	サンガメ科	7種
4. Acanthosomatidae	ツノカメムシ科	8種	13. Nabidae	マキバサンガメ科	3種
5. Coreidae	ヘリカメムシ科	7種	14. Anthcoridae	ハナカメムシ科	1種
6. Lygaeidae	ナガカメムシ科	22種	15. Miridae	メクラカメムシ科	14種
7. Pyrrhocoridae	ホシカメムシ科	1種	16. Gerridae	アメンボ科	5種
8. Largidae	オオホシカメムシ科	1種	17. Veliidae	カタビロアメンボ科	1種
9. Aradidae	ヒラタカメムシ科	5種	18. Corixidae	ミズムシ科	1種

### Plataspidae マルカメムシ科

1. *Coptosoma punctissimum* Montandon マルカメムシ 寄主はマメ科植物, とくにクズに多いが, 時にダイズやソラマメなどを加害することがある。

### Cydnidae ツチカメムシ科

1. *Macroscytus japonensis* Scott ツチカメムシ 土中, 落葉下などに普通。
2. *Aethus nigrinus* (Fabricius) マルツチカメムシ 地中にすみ, 燈火に飛来する。
3. *Chilocoris confusus* Horváth チビツチカメムシ 雑草の根際などで発見される。

### Pentatomidae カメムシ科

1. *Arma custos* (Fabricius) チャイロクチプトカメムシ [写真3] 本種は他の昆虫を捕食する。山地性の種で, 少ない。
2. *Aenaria lewisi* (Scott) シロヘリカメムシ 寄主はササ類。葉上に多い。
3. *Eysarcoris fallax* (Breddin) ムラサキシラホシカメムシ キク科, イネ科, マメ科などの雑草上に多い。

キ Tamotsu ISHIHARA, Mutsuo MIYATAKE, Masaaki TOMOKUNI and Goro TOKIHIRO:

The Heteroptera of the Ehime University Forest (Researches on the insect-fauna of Komenono University Forest, 3)

\*昆虫学講座 教授 \*\*助手 \*\*\*研究生 \*\*\*\*農学科学学生

4. *Carbula humerigera* (Uhler) トゲカメムシ 寄主としてアザミ類, ヨモギ, ウド, クマイチゴ, タラなどが知られている。四国では山地性の種である。
5. *Halyomorpha brevis* (Walker) クサギカメムシ クサギなど多くの植物を食し, またナン, モモなどの果実に加害する。越冬時には人家に侵入する傾向があり, その悪臭による害をうけることがある。
6. *Eurydema pulchrum* (Westwood) ヒメナガメ アブラナ科作物の害虫で, イヌガラシなどにも多い。
7. *Eurydema rugosa* Motschulsky ナガメ 寄主はダイコン, アブラナ, ナズナなどアブラナ科植物。
8. *Glaucias subpunctatus* (Walker) ツヤアオカメムシ 柑橘類, ナン, モモなどの果実の害虫として知られる。
9. *Plautia crossata stali* Scott チャバネアオカメムシ 寄主はサクラ, クワ, スギ, ヒノキ, タラなどであるが, カキ, ミカン等の果実を吸収加害する。普通種。
10. *Menida violacea* Motschulsky ツマジロカメムシ 寄主はクスギ, ナラ, クマイチゴ, フジ, ミツバウツギ, ノリウツギ, キリなど。山地に多い。
11. *Pentatoma japonica* (Distant) ツノアオカメムシ [写真1] 寄主はニレ, ケヤキ, カエデ類など。本州以北には多いが, 四国では山地性の稀種。
12. *Pentatoma rufipes* (Linné) アシアカカメムシ [写真2] 寄主はニレ, ミズナラ, カエデ類など。山地性の種で, 四国では少ない。
13. *Homalogonia obtusa* (Walker) ヨツボシカメムシ 寄主はフジ, ダイズ, クズなどのマメ科植物。
14. *Poecilocoris lewisi* Distant アカスジキンカメムシ 幼虫はキブシ, ホオノキ, シキミ, エゴノキ, ノイバラ, スルデなどの実を食うことが知られているが, 成虫はミズキ, アオキ, サワフタギなどの実に集まっていることが多い。一般に少ない種とされているが, 四国には多い。
15. *Graphosoma rubrolineatum* (Westwood) アカスジカメムシ 各地に普通の種で, ヤブジラミ, ニンジシウドなどセリ科植物の花, 種子に多く集まる。

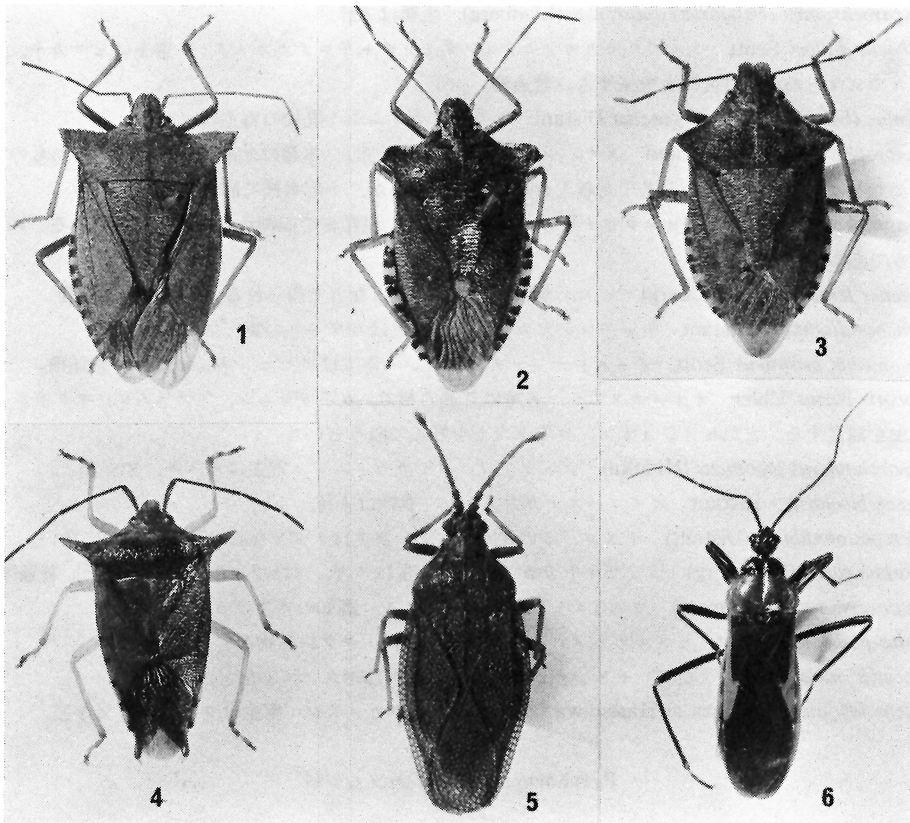
#### Acanthosomatidae ツノカメムシ科

1. *Acanthosoma denticauda* Jakovlev セアカツノカメムシ 寄主はミズキ, ヤシヤブシ, アセビ, スギ, ヒノキ, サンショウ, ヤマウルシなど。本属中最も普通の種で, 山地に多い。
2. *Acanthosoma forficula* Jakovlev ヒメハサミツノカメムシ 寄主はイヌザンショウ, ミズキ, ウコギなど。山地性で個体数は少ない。
3. *Acanthosoma labiduroides* Jakovlev ハサミツノカメムシ 寄主としてヤマウルシ, ツタウルシ, ミズキ, ヤナギ類, イヌザンショウなどが知られ, 前種同様, 山地に多い。
4. *Sastragala esakii* Hasegawa エサキモンキツノカメムシ 寄主はミズキ, ハゼノキ, コシアブラ, ウド, ツタウルシなど。本種に近縁の *S. scutellata* Scott モンキツノカメムシよりも山地性の傾向が強く, 演習林には本種のみを産するようである。
5. *Anaxandra gigantea* (Matsumura) オオツノカメムシ [写真4] 山地のケンボナシの樹上より得られるが, 稀な種である。
6. *Elasmucha putoni* Scott ヒメツノカメムシ 寄主はクワ, ヤシヤブシ, ノリウツギなど。演習林には普通。
7. *Elasmucha signoreti* Scott セグロヒメツノカメムシ 寄主はノリウツギ, スノキ, ウド, タラなど。前種に比べ個体数は少ない。
8. *Dichobothrium nubilum* (Dallas) アオモンカメムシ 寄主はキツタ, ウド, タラ, コシアブラなど。平地から山地にかけて多い。燈火にも飛来する。

#### Coreidae ヘリカメムシ科

1. *Molipteryx fuliginosa* (Uhler) オオヘリカメムシ 寄主はアザミ類, ノイバラ, クマイチゴ, キジムシロ, フキなど。山間部に多い。

2. *Homoeocerus unipunctatus* (Thunberg) ホシハラビロヘリカメムシ 寄主はクズ、フジ、メドハギその他のマメ科植物。極めて普通の種である。
3. *Colpura lativentris* (Motschulsky) オオツマキヘリカメムシ 寄主はクマイチゴ、アザミ類、ノイバラなど。普通種。
4. *Plinactus bicoloripes* Scott キバラヘリカメムシ 寄主はニシキギなど。分布は広いが余り多くない。
5. *Paraplesius unicolor* Scott ヒメクモヘリカメムシ 寄主はクマザサ、スズタケなどのササ類。山地には少なくない。
6. *Riptortus clavatus* (Thunberg) ホソヘリカメムシ 寄主はマメ科植物。ダイズ、インゲンなどの害虫として知られる。
7. *Stictopleurus punctatonervosus* (Goeze) ブチヒゲヘリカメムシ 寄主は未詳。雑草をすくい網して獲られる。



演習林の異翅亜目数種

- 1, *Pentatoma japonica* (Distant) ツノアオカメムシ (×2. 採集日付 VIII-12, '73);
- 2, *Pentatoma rufipes* (Linné) アシアカカメムシ (×2.5. VII-10, '65);
- 3, *Arma custos* (Fabricius) チャイロクチブトカメムシ (×3.2. VIII-12, '73);
- 4, *Anaxandra gigantea* (Matsumura) オオツノカメムシ (×2.3. X-16, '73);
- 5, *Tingis matsumurai* Takeya (×12. VII-20, '72);
- 6, *Labidocoris insignis* Distant クロバアカサシガメ (×3. VI-11, '72).

## Lygaeidae ナガカメムシ科

1. *Eucosmetus albomarginatus* (Scott) ヒョウタンナガカメムシ 既知の寄主はクマイチゴ。山地に多い。
2. *Togo hemipterus* (Scott) コバネヒョウタンナガカメムシ 寄主はノビエ, エノコログサなどのイネ科雑草。
3. *Pachybrachius lateralis* (Scott) キベリヒョウタンナガカメムシ 寄主はイネ科雑草で, その根際などに多い。
4. *Exptochiomera japonica* (Distant) イチゴナガカメムシ 寄主はキイチゴなど。海浜から山地に至るまで広く分布する普通種。
5. *Rhyparochromus (Panaorus) japonicus* (Stål) シロヘリナガカメムシ 寄主はムラサキ科植物, またウドを食するともいう。落葉下などから得られることが多い。
6. *Rhyparochromus (Panaorus) amurensis* (Lindberg) 生態は未詳。
7. *Lethaeus dallasi* Scott チャイロナガカメムシ(フタモンチャイロナガカメムシ) 寄主はヒサカキ, ヤシヤブシ, コウゾなどの実。燈火にも飛来する。普通種。
8. *Drymus (Sylvadrymus) marginatus* Distant クロナガカメムシ 既知の寄主はヨモギ。
9. *Lamproplax takahashii* Hidaka タカハシナガカメムシ〔新称〕 本種は北海道より記録されたもので, 今回とれたものは, 触角の長さなど若干記載と合わない点もあるが, 一応本種に同定しておく。
10. *Lamproplax piceus* (Flor) ヒメクロナガカメムシ〔新称〕 現在まで四国からのみ知られている。少ないものようである。寄主は未詳。
11. *Cligenes ferrugineus* (Lindberg) ヒナナガカメムシ 落葉下などで得られる。その食性は未詳。
12. *Dieuches dissimilis* Distant チャモンナガカメムシ 寄主はニワトコの実, コアカツなど。
13. *Prosomeus brunneus* Scott チャイロホソナガカメムシ 寄主はアセビ, ネジキなど。普通種。
14. *Geocoris varius* Uhler オオメカメムシ 各地に普通の種で, カイガラムシ, アブラムシ, キクイムシなどの小昆虫を捕食する。またヒメジョオン, ヨモギなどを好んで吸うという。
15. *Dimorphopterus japonicus* (Hidaka) ニッポンコバネナガカメムシ 寄主はススキ, アシなど。
16. *Blissus bicoloripes* Distant ヒメコバネナガカメムシ 食性は未詳。
17. *Macropes obnubilus* (Distant) ホソコバネナガカメムシ 寄主はメダケなどの竹類。各地に多い。
18. *Pylorgus colon* (Thunberg) ムラサキナガカメムシ 寄主はスギ, ノリウツギ, アセビなど。普通種。
19. *Kleidocerys resedae* (Panzer) ウスイロヒラタナガカメムシ 既知の寄主はカバノキ。
20. *Nysius prebejus* Distant ヒメナガカメムシ 寄主はイネ科, キク科植物など。
21. *Arocatus melanostoma* Scott セスジナガカメムシ 寄主はボタンズルなど。
22. *Malcus japonicus* Ishihara et Hasegawa オオメダカナガカメムシ 寄主はクワ, コウゾなど。

## Pyrrhocoridae ホシカメムシ科

1. *Pyrrhocoris tibialis* Stål フタモンホシカメムシ 雑草の根際, 石の下などに多いが, 食性は未詳。

## Largidae オオホシカメムシ科

1. *Physopelta cincticollis* Stål ヒメホシカメムシ 寄主はアカメガシワ, コウゾなどの実。燈火によく集まる。

## Aradidae ヒラタカメムシ科

1. *Aradus orientalis* Bergroth ノコギリヒラタカメムシ 寄主はカワラタケ, カイガラタケ, シュタケ, マスタケなど。



2. *Mezira scabrosa* Scott オオヒラタカメムシ 樹皮下に生息し、各地に多い。
3. *Mezira taiwanica* Kolmilev クロヒラタカメムシ 普通種。
4. *Usingerida verrucigera* (Bergroth) イボヒラタカメムシ 山地性の種で余り多くない。
5. *Aneurys sinensis* Kiritschenko シナヒメヒラタカメムシ 樹皮下より得られるが少ない。

#### Tingidae グンバイムシ科

1. *Tingis matsumurai* Takeya [写真5] 米野々演習林以外では大阪と和歌山から数頭記録があるのみの珍種。演習林からは2頭、落葉下より得られた。寄主は未詳。
2. *Acalypta sauteri* Drake マルグンバイ 寄主はコケ。
3. *Stephanitis fasciicarina* Takeya クスグンバイ 寄主はクスノキ、シロダモなどのクス科植物。しばしば庭木のクスに大発生する。
4. *Stephanitis svensoni* Drake シキミグンバイ 寄主はシキミ。山地性の種で演習林には比較的多い。
5. *Stephanitis takeyai* Drake et Maa トサカグンバイ 寄主はクロモジ、シキミ、ダンコウバイ、アセビ、ネジキなど。各地に普通の種。
6. *Cystechila monstrosa* (Scott) コアカソグンバイ 寄主はアカソ、コアカソなど。山地に多い。

#### Enicocephalidae クビナガカメムシ科

1. *Hoplitocoris lewisi* (Distant) ヒメクビナガカメムシ 演習林には多い。本種には群飛の奇習がある〔馬場金太郎 (1936) 昆虫界4:136—150〕。

#### Reduviidae サシガメ科

1. *Reduvius humeralis* (Scott) クビアカサシガメ 山地に少なくない。
2. *Haematoloecha nigrorufa* (Stål) アカシマサシガメ 普通種。
3. *Labidocoris insignis* Distant クロバアカサシガメ [写真6] 山地性の種で少ないものである。
4. *Sphedanolestes impressicollis* (Stål) シマサシガメ 平地～山地の雑草間に多い。
5. *Velinus nodipes* (Uhler) ヤニサシガメ 普通種。マツの樹上に多い。
6. *Cydnocoris russatus* (Stål) アカサシガメ 山地性の普通種。
7. *Isyndus obscurus* (Dallas) オオトビサシガメ 燈火によく飛来する。成虫で越冬し、越冬のため人家に侵入することがある。本種に刺されると激痛がしばらく続く。

#### Nabidae マギバサシガメ科

1. *Himacerus apterus* (Fabricius) ハラビロマギバサシガメ 山地性。
2. *Gorpis brevilineatus* (Scott) アカマギバサシガメ 山地性の種。演習林には多い。
3. *Nabis apicalis* Matsumura コバネマギバサシガメ かん木、雑草間などに多い。

#### Anthocoridae ハナカメムシ科

1. *Amphiareus obscuriceps* (Poppius) ヤサハナカメムシ 食虫性で、枯枝などに多い。

### Miridae メクラカメムシ科

1. *Stenodema (Stenodema) rubrinerve* Horváth アカミヤクメクラガメ 寄主はイネ科植物。各地に多い。
  2. *Onomaus lautus* (Uhler) アカアシメクラガメ 寄主はイラクサ、ツリフネソウなど。山地に多い。
  3. *Phytocoris ohataensis* Linnavuori オオマダラメクラガメ 山地性の種で食性は未詳。今回とれた1頭は燈火に飛来したもの。
  4. *Adelphocoris triannulatus* (Stål) ブチヒゲクロメクラガメ 各地の雑草間に多い。
  5. *Eolygus rubrolineatus* (Matsumura) アカスジヒゲフトメクラガメ 山地の雑草間に多い。
  6. *Lygus pulchellus* Reuter 普通種。斑紋に変異が多い。
  7. *Lygus pabulinoides* Linnavuori ツヤミドリメクラガメ 山地に普通。
  8. *Lygus nigritulus* (Linnavuori) クロバメクラガメ 普通種。食性は未詳。
  9. *Creontiades tricolor* (Scott) オオチャイロメクラガメ 山地に少なくない。四国未記録種と思われる。
  10. *Charagochilus angusticollis* Linnavuori ヒメセダカメクラガメ 各地の雑草間に普通。本種も従来四国から記録のなかったものである。
  11. *Cyrtorhinus lividipennis* Reuter カタグロミドリメクラガメ 平地に多く、ウンカ類の卵を吸食するので、その天敵として知られる。
  12. *Bryocoris gracilis* Linnavuori ホソシダメクラガメ 山地性の種で、寄主はシダ類。
  13. *Monalocoris japonensis* Linnavuori ズアカシダメクラガメ 平地～山地に普通。寄主はシダ類。
  14. *Isometopus japonicus* Hasegawa ダルマカメムシ コナカイガラムシ類の天敵として知られる。
- 以上の外に本科には未同定種がかなりあるが、それらは同定できしだい報告したい。

### Gerridae アメンボ科

1. *Gerris (Aquarius) elongatus* (Uhler) オオアメンボ 日本最大のアメンボで、池などで他種と混生しているもよく目立つ。
2. *Gerris (Aquarius) paludum insularis* (Motschulsky) アメンボ 各地の水域に最も普通の種。
3. *Gerris (Gerris) gracilicornis* (Horváth) コセアカアメンボ 山間部の池沼に普通。
4. *Gerris (Gerris) lacustris latiaabdominis* Miyamoto ヒメアメンボ 各地の水域に多い。
5. *Metrocoris histrio* (B. White) シマアメンボ 山地の溪流に多い。

### Veliidae カタビロアメンボ科

1. *Microvelia douglasi* Scott ケシカタビロアメンボ 止水性の種で各地に多く、燈火にも飛来する。

### Corixidae ミズムシ科

1. *Sigara septemlineata* (Paiva) エサキコミズムシ 平地～山間部の池沼、水田、一時的な溜水などに広く分布し、個体数も多い。

(1974年3月29日受理)